

令和元年度 市町村社協ボランティア担当者研究協議会

～住民主体の支え合い活動・住民相互の取組みを推進するために～

開催要項

1 趣旨

県社協が推進するTHANKS運動では大きな柱の一つとして“住民主体の支え合い活動・住民相互の取組みの推進”を掲げており、既存制度では対応しにくいニーズに対して地域住民やボランティアとの協働による支援活動を展開する社協ボランティアセンターの果たす役割は益々大きくなってきます。

しかし、地域におけるボランティア活動を推進する中で「ボランティア人材の不足」や「ボランティアニーズの把握」等の課題が顕在化しており、社協ボランティアセンターの機能の強化が求められます。

そこで本研究協議会では、住民自身が地域の生活課題に気づき、課題解決に向けた取組みに主体的に関われるよう、社協及びボランティアセンターの役割や機能を確認するとともに、社協内部・外部との連携・協働による課題解決の取組みづくりを推進することを目的に開催します。

2 主催 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会／沖縄県ボランティア・市民活動支援センター

3 日時 令和元年12月9日（月）10：30～16：25（10：00受付開始）

4 場所 沖縄県総合福祉センター 東棟 403 研修室

5 参加費 無料

6 対象 (1)市町村社会福祉協議会 ボランティア担当職員

7 定員 60名

8 申込期日 令和元年12月2日（月） ※定員に達し次第受付を終了します。

9 日程・内容

10：00～10：30	受付
10：30～10：40	開会・オリエンテーション
10：40～11：10 (30分)	実践報告 「令和元年度九州北部豪雨災害の被災地支援について（佐賀県大町町 派遣活動報告）」 報告者：大城 洋明（沖縄県社会福祉協議会 地域福祉部 主事）
11：10～11：50 (40分)	事業説明 「住民主体の支え合い活動・住民相互の取組みの推進に向けて ～サンクス運動の取組みを通じた事業展開・モデル事業の取組みから～」 説明者：大城 利公（沖縄県社会福祉協議会 地域福祉部 主任）
11：50～12：50	昼休憩
12：50～13：50 (60分)	基調講話 「地域共生社会の実現へ向けて市町村社協ボランティアセンターに期待すること」 講師：日野 徹 氏（沖縄県子ども生活福祉部 参事）
13：50～13：55 (5分)	休憩
13：55～14：55 (60分)	実践報告 ①「住民主体のボランティア活動を進めていくために」 報告者：沖縄市社会福祉協議会 地域福祉推進課 古謝 椿 氏 ②「社協と連携したボランティア団体連絡協議会の取り組み」 報告者：糸満市ボランティア団体連絡協議会 会長 玉城 満 氏 進行：宮道 喜一 氏（(特) まちなか研究所わくわく 事務局長）
14：55～15：00 (5分)	休憩
15：00～16：10 (70分)	グループワーク 「住民主体のボランティア活動を進めるための機能強化について」 進行：宮道 喜一 氏（(特) まちなか研究所わくわく 事務局長）
16：10～16：20 (10分)	総括 講師：宮道 喜一 氏（(特) まちなか研究所わくわく 事務局長）
16：20～16：25	アンケート・閉会

10 お申込方法

別紙参加申込書を本会宛てに FAX してください。

1.1 個人情報の取り扱いについて

「参加申込書」に記載された個人情報は、当研修会の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、当研修会で配布する名簿にお名前と団体名を記載いたします。

1.2 その他

- ・駐車場が限られています。同じ団体の方々など、乗り合わせての来場をお願いいたします。また会場が混雑している場合は、詰め込み駐車となりますのでご了承ください。
- ・参加申込書は県ボランティア・市民活動支援センターHP (<http://volunchu.net/>) からダウンロードできます。
- ・悪天候により、公共交通機関がストップした場合や、その他の事情により研修会の開催ができない場合は、延期または中止いたします。(延期・中止のお知らせは下記のHP などでお知らせいたします。)
- ・会場周辺は飲食店舗等が少ないため、昼食は各自で準備してください。

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会／沖縄県ボランティア・市民活動支援センター(担当:大城・上原)
〒903-8603 那覇市首里石嶺町 4-373-1
TEL:098-884-4548 FAX:098-884-4545
E-mail:vol@okishakyo.or.jp ホームページアドレス <http://volunchu.net/>